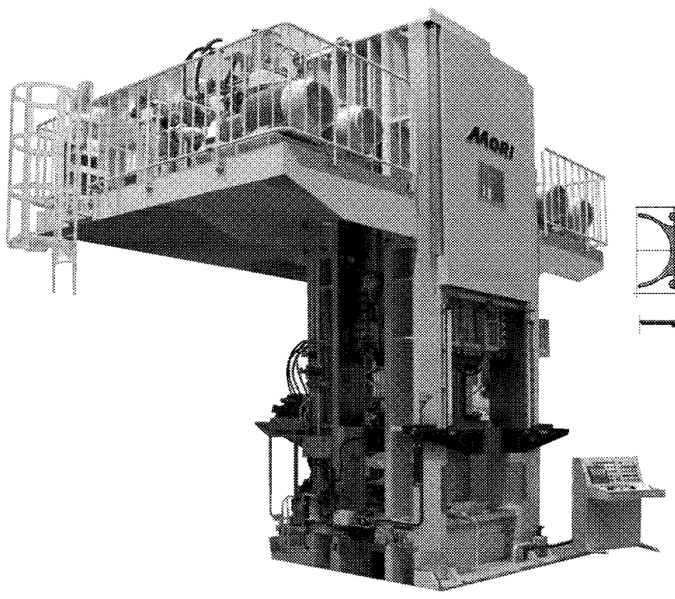
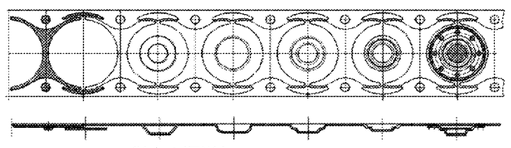
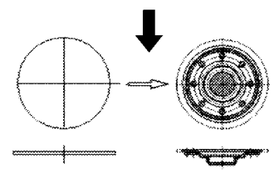
プレス加工革命へ値千金の一打
ワンショットフォーミングプレス
（進化した多軸油圧サーボMSFシリーズ）



製品のワンショット加工
設備と金型の小型化
設備費とランニングコストの低減



従来の順送加工　12,000kN

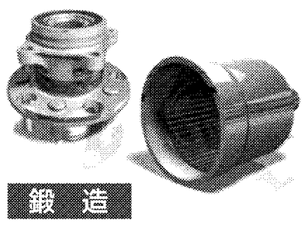


ワンショットフォーミング　3,500kN

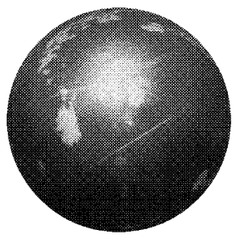
金型開発用10,000kN 6軸プレスを弊社に設置してあります。
どうぞご利用ください。

ハイテク技術の液圧プレス
森鉄工株式会社（日本鍛圧機械工業会々員）
【URL】http://www.moriiron.com
本社・工場　〒849-1391 佐賀県鹿島市大字井手2078　TEL0954-63-3141(代)　FAX0954-63-3157
東京事務所　TEL03-3438-0539　大阪事務所　TEL06-6303-4872
海外営業所　ソウル・トロント・上海・バンコク
ISO 9001 認証

ホイールハブユニット・ベアリング

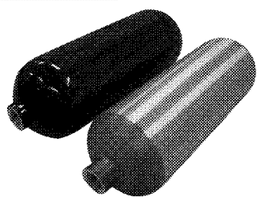


鍛造



未来を拓く創造力
SAMTECH

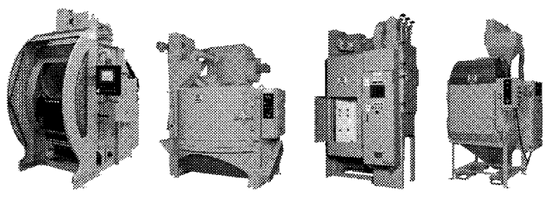
高圧容器



35Mpa車載用高圧水素ガス容器

熱間・冷間鍛造から高圧ガス容器の開発製造まで
サムテック株式会社　http://www.samtech.co.jp
〒582-0027 大阪府柏原市円明町1000番18（本社）
TEL.(072)977-8851(代)　FAX.(072)977-8854

時を稼ぐ。
熱処理スケールを短時間で落とす
新東ショットブラストシリーズ
スケール落としの処理時間を短縮する機構を備えたドラム式、テーブル式、ハンガー式、エプロン式の各種ショットブラストをラインナップ。



New Harmony≫New Solutions™
sinto
新東工業株式会社
〒450-0002 名古屋市中村区名駅3-28-12
Tel 052 582 9211 Fax 052 586 2279
www.sinto.co.jp

精度に優れた部品づくりサポート
鍛造技術

素材から一貫した高い品質と安定性でジャパンメードを印象づけてきたわが国の鍛造技術とその成果である鍛工品。かつて幾度となく日本の製造業の空洞化問題が大きく取りざたされたが、結果的には鍛造業の多くが国内にとどまり、その後の需要増に応えた。今、出口の見えない円高が続き、日本企業の海外生産化シフトが続くとともに、新興国の市場が成長しつつある。これらを受け、鍛工品製造拠点の海外移転の本格化と、その一方で、国内で行われる大型部品製造設備への投資など、これまでとは趣の異なる変化が起こり始めているようだ。

機械メーカー　新興国へ進出加速

鍛造技術の基礎ともいうべき鍛圧機械。これらを製造する鍛圧機械各社はこのところ新興国への展開を強めている。アマダは2011年12月に、上海市に中国事業の統括会社を設立したのに続き、上海に板金機械の新工場を建設中だ。現地生産比率を大幅に高める。また、アイダエンジニアリングは11年6月、ベトナム・ハノイ市に現地法人を開設。マレーシア工場も増強している。

鍛造品を〝つくる側〟も体制強化の動きが活発で、今年から来年にかけて海外進出の事例が増える。テクノアソシエは中国で自動車部品製造の第二工場新設の検討に入った（日刊工業新聞3月9日）。冷間鍛造プレスや温間鍛造ライン、切断機などを備え投資額は3億円程度になりそうだという。同社は子会社である中国の鍛造部品メーカー「日星金属制品上海」で生産した自動車部品を現地の日系部品メーカーと日本・北米向けに販売している。手狭な工場に代えて旺盛な需要に対応する。

名古屋特殊鋼は和田山精機と共同で、8月にもインドネシアでの金型製造に乗り出すことを計画している（同2月20日）。3月をめどに現地法人を設置し、西ジャワ州の自動車部品向けテクノパークの工場で熱間・冷間鍛造用やアルミダイカスト、プレス金型などを製造する。インドネシアは自動車関連メーカーの進出が続く一方、現地金型メーカーは少ない。また、同地で生産した製品を日本や米国に輸出することも検討しているという。

重要保安部品が多く比較的製造拠点の海外流出が少ないといわれてきた鍛造品にも、中級品を中心として徐々に新興国への移転、あるいは現地での生産を充実しとする動きが活発化している。もちろん、我が国鍛工品を製造を担う業者の大半は中小企業であり、大手の動きが即反映されるというわけではないが、影響は少なくない。

一方で、円高を背景に鍛造王国・日本に海外から進出を図る例も出てきた。韓国の鉅洋（ゴーヤン）金属は3月、名古屋市熱田区に販売会社を設立、日本進出を開始した。同社は冷間鍛造によりベベルギアを生産し、現代自動車と起亜自動車に採用されている。日本製に遜色ないという品質と、円高ウォン安による高いコスト競争力を生かし、日本国内の自動車・部品メーカーに売り込む。また、アジア圏に展開する日系メーカー工場への供給も視野に入れる。

車の部品で鍛造技術は活躍（昨年の「東京モーターショー」会場で）

設備導入に新たな動き

ただ、ここへきて国内へ新たな設備を導入し、市場を開拓しようとする動きも目立つ。とりわけ、これまでの軽薄短小が好まれる風潮下で設備更新が進まず、今では国外に加工を頼ることとなっていた大型鍛造品について、国内で手当し、国内外の需要に対応する動きである。

ここ数年、各方面からの注目を集めるのが日本エアロフォージ（Jフォージ）のスタート。同社は神戸製鋼、日立金属、IHI、川崎重工などが中心となって設立した大型鍛造部品製造会社で、岡山県倉敷市の工場内に世界最大級の加圧能力5万㌧の鍛造プレスを備える。

航空機や電力プラントに向けたニッケル、チタンなど大型鍛造部品の需要が増える一方、国内では1万㌧級のプレスしかなく、それ以上を要する大型鍛造材はロシアやフランスなど海外メーカーから輸入していた。超大型プレス機の稼働により大型鍛造品の国産化が可能になるほか、国内の素材、重工・重電メーカーが組むことで製造技術やコスト競争力を高めることも期待できる。

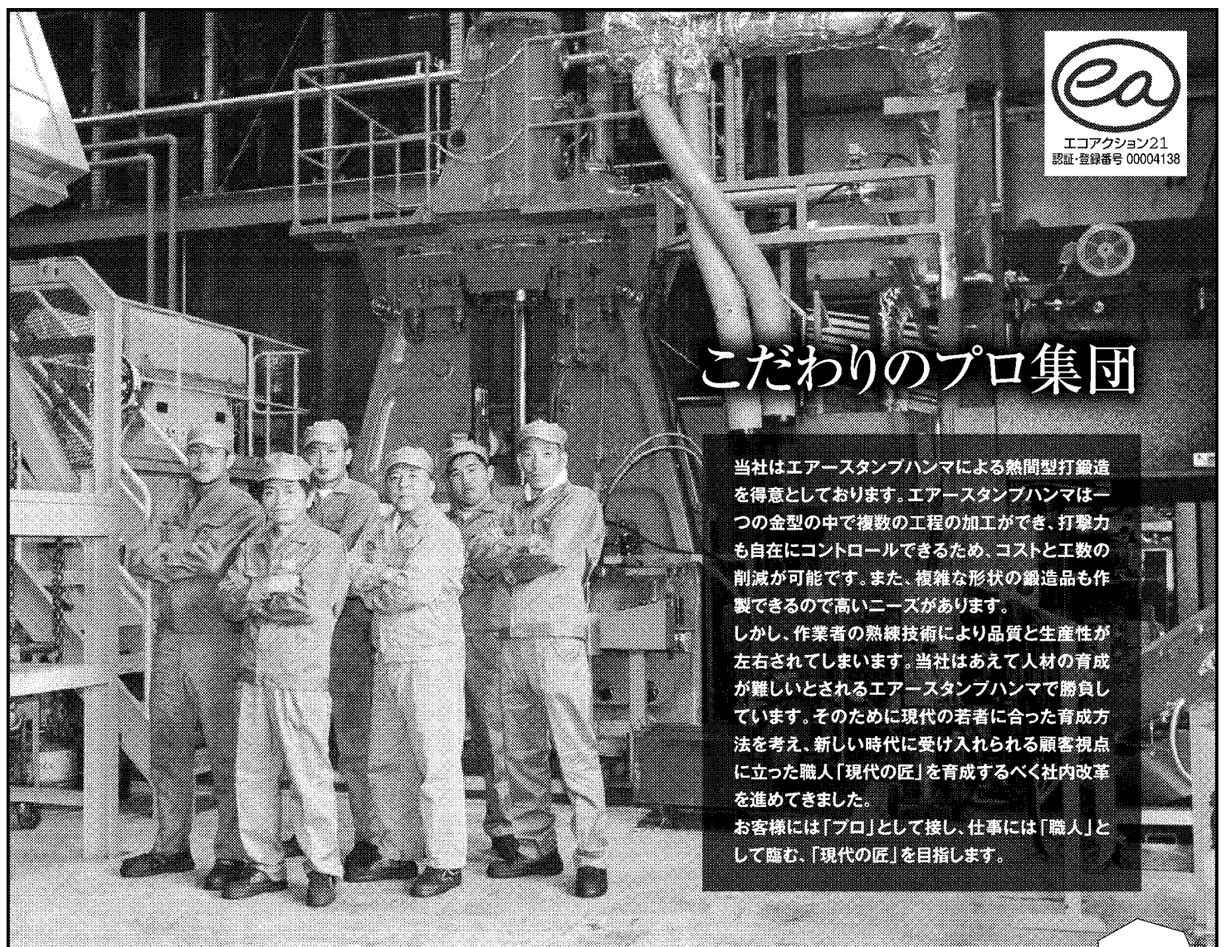
需要増えるリング部品

鍛造を利用する大型部品に軸受などに使われるリング状の鍛造品がある。近年は航空機の他、建機や風力発電などエネルギー関連でも需要が増えている。この加工に用いるのがローリングミル。複数のロールを回転して圧延しリング部品を成形するこの機械を増強する企業が続く。

（本文、次ページ下段へ続く）

ベベルギアの韓国トップグループ GYM社が日本に窓口
冷間鍛造から熱処理・機械加工まで一貫生産体制で承ります

韓国ベベルギアトップ企業の実績
現代自動車グループへ月に180万個納入
GEOYANG　鉅洋金属 GEOYANG METAL CO.,LTD.
GYM ジャパン
〒456-0055
愛知県名古屋市熱田区南一番町5-17
電話・FAX 052-880-0290
E-mail:gym-japan@tg.commufa.jp
http://www.business1.jp/gym-jp/



エコアクション21
認証・登録番号 00004138
こだわりのプロ集団
当社はエアースタンプハンマによる熱間型打鍛造を得意としております。エアースタンプハンマは一つの金型の中で複数の工程の加工ができ、打撃力も自在にコントロールできるため、コストと工数の削減が可能です。また、複雑な形状の鍛造品も作製できるので高いニーズがあります。
しかし、作業者の熟練技術により品質と生産性が左右されてしまいます。当社はあえて人材の育成が難しいとされるエアースタンプハンマで勝負しています。そのために現代の若者に合った育成方法を考え、新しい時代に受け入れられる顧客視点に立った職人「現代の匠」を育成するべく社内改革を進めてきました。
お客様には「プロ」として接し、仕事には「職人」として臨む、「現代の匠」を目指します。
各種鍛造品・設備工事
株式会社 大智鍛造所
OHCHI FORGING CO.,LTD.
〒666-0025　兵庫県川西市加茂6丁目45−1
TEL.072-759-4969　FAX.072-759-8752
http://www.ohchi-forging.jp
大智鍛造所　検索
ホームページも見てね!
オーチマン

OHMI PRESS WORKS AND FORGING CO.,LTD
国内最大級の1万5000トン自由鍛造プレス 稼働中
あらゆる産業の進化をサポートする鍛造技術。
これまでも、これからもベーシック

近江鍛工は
未来の美しい地球を目指し
環境問題に
取り組んでいます。
ISO 9001　ISO 14001　JIS Q 9100
1999.1月　2001.2月　2007.3月
認証取得
近江鍛工株式会社
URL:http://www.omitanko.co.jp/
本社工場　滋賀県大津市月輪1丁目4番6号　〒520-2152
TEL.077(545)3281 FAX.077(545)8802
滋賀・信楽工場／長崎工場／U.S.A Office